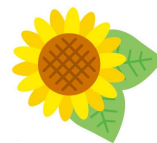


ひまわり



令和3年12月20日(月)

今年の漢字



日本漢字能力検定協会（漢検協会）が年末に実施している恒例行事「今年の漢字」で、今年の世相を表すものとして「金」が選ばれました。（全国からの募集）
「金」が選ばれるのは、1995年にこのイベントが始まってから4回目だそうです。

漢検協会は、応募者が「金」を選んだ理由のとして次のものをあげています。東京五輪で日本人選手が多数の「金」メダルを獲得、大谷翔平選手の大リーグでのMVP、藤井聡太棋士の最年少四冠達成など。それぞれの分野で、金字塔を打ち立てたことなどが列挙されています。

孔子の「論語」では、孔子と弟子による次のやりとりが示されています。
弟子：「人間として一生やっていくべきこととは、どんなことでしょうか」
孔子：「それは『恕（じょ）』である」

「恕」には「相手を思いやる」・「許す」という意味があります。孔子は人間関係をとても重視した思想家ですので、相手のことを大切にする「恕」という字を示したのでしょう。「ことしの漢字」ならぬ「こうしの漢字」です。

今年も振り返れば、おとなの世界でも子どもの世界でも「いじめ」事象が多く報道されていました。とりわけSNSなど、ネット上での人への誹謗・中傷、いじめも多く報道され、とても憂うべきことだと感じています。相手の立場になって物事を考えれば、人への理不尽な攻撃はできないはずです。自分がされていやなことは人にもしない。当たり前のことですよね。

今年1年を振り返り、自分は人に優しくできたか、知らず知らずの内も含め人を傷つけていなかったか、ということを考えてみませんか。その上で、あなたの金言（きんげん）となる今年の漢字を考えてみましょう。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【東住吉中学校】で検索



QR code

東住吉中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j742691>